

※観覧には原則、事前予約制の「日時指定券」の購入が必要です
令和7年 10／25「土」―11／10「月」
開館時間 午前8時～午後6時
会期中（金・土・日曜、祝日は午後8時まで）
無休 ※入館は開館の60分前まで



もりのつぎ
瑠璃杯(中倉)

The 77th Annual Exhibition of
Shōsō-in Treasures

第77回 正倉院展

観覧料金

一般	2,000円
高大生	1,500円
小中生	500円
キャンパスメンバーズ学生	400円
レイト割 一般	1,500円
レイト割 高大生	1,000円
レイト割 小中生	無料

※レイト割は月～木曜日は午後4時以降、金・土・日曜日、祝日は午後5時以降の「日時指定券」に適用されます。

研究員レクチャー付き観覧券(観覧料金も含む) 3,000円

日時:10月28日(火)、30日(木)、11月5日(水)、7日(金)
①午前10時～②午後3時～ 定員:各回180人
※9月5日(金)午前10時からローソンのみで販売

入館・観覧に関して

- ・指定された日時以外の入館はできません。
- ・館内の状況により、指定された入館時間より早くご案内する場合や、お待ちいただく場合があります。
- ・各時間枠開始直後は、混雑が予想されますので、少し遅れてのご入館をおすすめいたします。
- ・午前中～午後3時の時間帯はご入場までの待ち時間や会場内の混雑が予想されます。早朝や夕方の時間帯もご活用ください。
- ・本展は入替制ではありません。
- ・本展の「日時指定券」で、名品展(仏像館・青銅器館)もご覧になれます。
- ・当館に駐車場はございません。お車でのご来館はご遠慮願います。

詳しくは下記をご覧ください。
[奈良国立博物館ウェブサイト] <https://www.narahaku.go.jp/>
[正倉院展公式ホームページ] <https://shosoin-ten.jp/>
[正倉院展公式X] [@shosointen](https://twitter.com/shosointen)



「日時指定券」販売開始日時 9月5日(金) 午前10時

「日時指定券」は当日各時間枠開始時刻まで販売 予定販売枚数に達し次第販売を終了

※観覧当日、日時指定枠に空きがある場合のみ、
奈良国立博物館敷地内の特設窓口でも販売します(発券料200円/枚が必要)。
※混雑緩和のため、事前購入にご協力ください。

■ローソンチケット[Lコード:59990]
インターネット(<https://l-tike.com/77shosoin-ten/>)、ローソン各店舗、ミニストップ各店舗

■CNプレイガイド[Cコード※入館開始時間ごと:①月～木曜日:午前8時～正午 265-051、
②月～木曜日:正午以降 265-052、③金・土・日曜日、祝日:午前8時～正午 265-053、
④金・土・日曜日、祝日:正午以降 265-054]
[電話(自動音声)0570-08-9920による受付のみ]

■展覧会オンラインチケット(<https://www.e-tix.jp/shosoin-ten/>)

■美術展ナビチケットアプリ
事前に「美術展ナビチケットアプリ」のダウンロードが必要です。
美術展ナビチケットアプリはスマートフォン専用となります。(推奨環境:iOS 13以降、Android 6.0以降)

※高大生の方は学生証をお持ちください。※障害者手帳またはミラロID(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)、未就学児、レイト割(小中生)、奈良博メンバーシップカード会員の方(1回目及び2回目の観覧)、賛助会会員(奈良博、東博[シルバー会員を除く]、九博)、清風会会員(京博)、特別支援者は無料。※無料対象の方は、「日時指定券」の購入は不要です。証明書等をご提示ください(小中生以下は不要)。※キャンパスメンバーズ会員の学生は、奈良国立博物館と連携する特定の大学等に属する学生のみが対象となります。詳細は同館ウェブサイトをご確認ください。
※「日時指定券」の変更、キャンセル、払い戻し、再発行はいたしません。

公開講座

10月25日(土) ※申込期間:9月29日(月)～10月14日(火)
「天翔る聖武天皇」
三田覚之 奈良国立博物館 主任研究員

11月1日(土) ※申込期間:10月6日(月)～10月20日(月)
「古代ガラスの復元 ―瑠璃杯を中心に―」
迫田岳臣氏 ガラス工芸家(倉敷芸術科学大学 主任技術員)

11月8日(土) ※申込期間:10月14日(火)～10月27日(月)
「大仏造題と宝物献納」
飯田剛彦氏 宮内庁正倉院事務所 所長

[時間] 午後1時30分～3時(午後1時開場)
[会場] 奈良国立博物館 講堂
[定員] 各180人(事前申込抽選制) 座席自由
[料金] 聴講無料(展覧会観覧券等の提示は不要です)
[応募方法]
奈良国立博物館ウェブサイト「講座・催し物」→「公開講座」申込フォームから申し込み。

[主催・会場] 奈良国立博物館 [特別協力] 読売新聞社

[お問い合わせ] 050-5542-8600(ハローダイヤル)

[協賛] 岩谷産業、印傳屋上原勇七、NTT西日本、関西電気保安協会、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、ダイキン工業、ダイセル、大和ハウス工業、中西金属工業、丸一鋼管、大和農園、ルート製薬 [特別支援] DMG森精機 [協力] NHK奈良放送局、奈良交通、奈良テレビ放送、仏教美術協会、読売テレビ

〒630-8213 奈良市登大路町50番地 [お問い合わせ] 050-5542-8600(ハローダイヤル)

近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から
市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

第77回 正倉院展

秋深まる古都・奈良に彩りを添える正倉院展が、今年、七十七回目の開催を迎えます。正倉院宝物は、校倉造りで有名な正倉院正倉に伝えられた約九千件にのぼる宝物群です。およそ千三百年前、平城京に花開いた天平文化の粋を伝える貴重な品々を中心に構成され、天皇の勅封という厳重な管理のもと、今日まで守り伝えられました。

今年の正倉院展も選りすぐりの宝物が会場を彩り、私たちが天平の華やぎの世界へと誘います。聖武天皇の身近におかれた「木画紫檀双六局」（寄木細工の双六盤）をはじめ、高貴な素材と技が駆使された工芸品が、華やかで知的な雰囲気にあふれた宮廷生活を偲ばせます。一方、深い紺色がなんとも美しい「瑠璃环」（ガラス製のさかずき）、名香「蘭奢待」として世に知られる「黄熟香」（香木）など異国情緒あふれる品々から、シルクロードを通じた当時の国際色ゆたかな都の情景が垣間見えます。

宮内庁正倉院事務所による最新の宝物調査の成果も織り交ぜながら、豪華なラインナップで開催する今年の正倉院展を、ぜひともご堪能ください。



木画紫檀双六局(北倉)
聖武天皇ご愛用の双六盤。木・竹・象牙などを細かく組み合わせた木画で、花唐草や鳥の文様をいきいきと表す。



黄熟香(中倉)
「蘭奢待」として世に知られた香木。インドシナ半島から海をわたり、日本にもたらされたと考えられている。



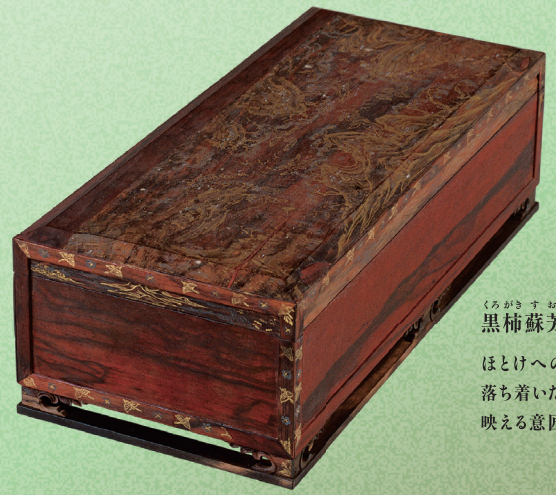
桑木阮咸(南倉)
中国で成立したと考えられる四絃の楽器。胴部中央の撥受けには、文人が松や竹の下で囲碁を楽しむ情景が描かれる。



平螺鈿背円鏡(北倉)
『国家珍宝帳』に記載された聖武天皇ゆかりの鏡。ヤコウガイやコハク、トルコ石など、シルクロード各地の素材を用いて中国・唐で製作されたと考えられる。



天平宝物筆(中倉)
特大サイズの筆。奈良時代の東大寺大仏開眼会で、大仏の瞳を点じるのに用いられた。後に、鎌倉時代の大仏再興時にも用いられ、その際の銘文が刻まれている。



黒柿蘇芳染金銀山水絵箱(中倉)
ほとけへの供物を取めたと考えられる箱。落ちていた茶色地に金銀泥の山岳文様が映える意匠が、神聖な趣をもたらしている。



鳥毛篆書屏風(北倉)
君主への戒めのことばを表した屏風。羽毛貼りの篆書と絵の具吹き付けの楷書を交互に配したデザインは華麗にしてリズムカル。



花氈(北倉)
羊毛製のフェルトの敷物。赤や青のグラデーションで華やかに彩られた大唐花文様が異国情緒を醸し出す。